

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M16C-58-0007

M30240 グループ ワンタイム PROM 版 コントロール転送の注意事項

1. 対象品種名

M30240 グループ ワンタイム PROM 版

2. 現象

コントロール転送(エンドポイント0)のSETUPステージとDATAステージの間、もしくはDATAステージとDATAステージの間に他のエンドポイントの転送が発生した場合、USB 信号およびMCUの動作タイミングにより次頁の4つの現象が発生します。

これらの現象はコントロール転送(エンドポイント0)のSETUPステージとDATAステージの間、またはDATAステージとDATAステージの間に他のエンドポイントの転送が発生した場合に起こります。ただし、 の場合はこれに加えて下記(a)(b)の両条件が重なったときに発生します。

- (a) *1で実際に転送したパケットサイズ(Apsize)がそのエンドポイントの示す最大パケットサイズ(IN_MAXPもしくはOUT_MAXP)と一致しない。
- (b) *1で実際に転送したパケットサイズ(Apsize)とそのエンドポイントが示すIN_MAXPもしくはOUT_MAXPの値(OEMAXPsize)の差が、エンドポイント0の最大パケットサイズ(EP0MAXP)より小さい。
$$\text{OEMAXPsize} - \text{Apsize} < \text{EP0MAXP}$$

3. 対策

これらの4つの現象は、ホスト側で、コントロール転送(エンドポイント0)のSETUPステージとDATAステージの間に、他のエンドポイントの転送が発生しないように対策することで、回避可能です。

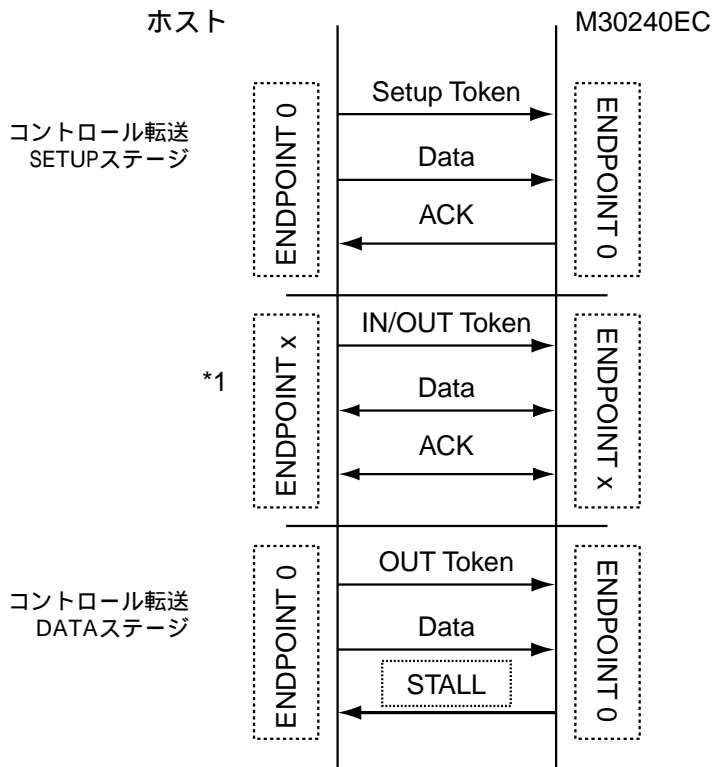
4. その他

マスク版(M30240M5/6-XXXFP)ではこの現象は発生しません。

以上

現象具体例

ControlWrite 転送(エンドポイント0) のDATAステージにおいて、M30240ECがハンドシェイクでSTALLを返します。



他のエンドポイントの転送(*1)時、M30240ECがハンドシェイクでSTALLを返します。

